

2021年8月13日
(午後3時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第2報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社がMI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております、木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、8月12日(木)午前4時15分に船体の分断、油の流出が発生致しました。現在、油濁の防除作業および分断された船体の監視を関係当局と連携して対応にあたっております。

1. 現時点(8月13日午後3時現在)では、本船から流出した油の量は特定されておられません。
本船が座礁した8月11日時点では、重油約1,550MTと軽油約130MTを保有していました。
現在も海上災害防止センターによって、船外へ流出した油の防除作業(油処理剤、吸着マットの使用)を継続しています。又、海岸に漂着した油の回収および船内に残った燃料の抜き取り作業の準備を進めております。
2. 本船は、船体の後方(5番貨物艙と6番貨物艙の間付近)において、前後2つ(船首部と船尾部)に分断されました。分断された船首部は浮遊状態で錨鎖により留まっており、船尾部は海底に着底している模様です。
分断された船体の曳航や処置の方法については、汚染防止を最優先に気象・海象を注視しつつ、関係当局並びにサルベージ会社と検討を進めております。
3. 座礁事故の原因については現在調査中です。
尚、捜査当局による本船船長をはじめとした乗組員への事情聴取が実施されています。

当社は座礁事故発生後より事故対策本部(本部長:代表取締役社長 岩井正実)を立ち上げ、現地に要員を5名派遣、海上保安庁および関係者と協力して、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組みます。

【本船要目】

船種 : 木材チップ専用船

全長・全幅 : 199.9メートル・32.2メートル

総トン数: 39,910トン

乗組員 : 21名(中国人、フィリピン人)

船籍 : パナマ

船主 : MI-DAS LINE S.A.社 (洞雲汽船株式会社の関連会社)

運航会社: 日本郵船株式会社

竣工年 : 2008年

以上